

大阪府歯科保険医協会
敬 志岐 会
大 市浪速区幸町1-2-33
電 話(06)6568-7731(代表)
http://osk-net.org/
●定価・年間10,000円 月1,000円
●1977年5月23日第三種郵便物認可



12・16 衆院選

候補者アンケート

衆院選(12月16日投票)に向けて政策部は、大阪府内の19小選挙区の候補者に政策アンケートを実施した。社会保障費の増額や消費税増税の撤回、窓口負担軽減など、協会が掲げる医療・社会保障要求に沿って賛否を尋ねたところ、共産・社民候補だけがすべて賛成し、協会との一致点が鮮明になった。民主・自民の「二大政党」は賛否を示さない回答が目についた一方、維新候補は反対が多く、協会の要求とは相容れない姿が明確になった。

協会要求に反対多い維新

共産・社民との一致点鮮明に

(3面に結果一覽)

アンケートは、11月19日時点で主要政党を中心として候補を表明している候補や政党事務所に送付した。質問内容は、「社会保障への国と大企業の負担を増やす」「国の制度として子どもの医療費を無料にする」「医療機関に対する不当な指導・監査を改める」「憲法9条を堅持する」など、19項目。いずれも協会の要望や政策に沿ったもので、同月26日までに37候補が回答した。「社会保障費の削減を改め、予算を増やす」との問いには、民主・共産・社民を中心にほとんどの候補が賛成や「その他」を選択するなか、回答がなかった。

「憲法9条を堅持する」では、民主・公明・共産・維新・社民の各候補すべて賛成と答えた。民主は回答を寄せた4候補のなかで賛否が混在。自民も6候補のうち4候補が「その他」を選択するなど、党内での不一致が見られた。

「不当な指導・監査を改める」の問いには、自公を除くすべての候補が賛成した。自民候補の半数と公明候補は賛否を明らかにしなかった。

「憲法9条を堅持する」では、民主・公明・共産・社民候補が賛成。自民・未来・公明・維新候補のほとんどが反対、または「その他」を選択し、真二つに割れた。「TPPに参加しない」との設問では、共産

党内不一致

賛否割れる

・社民は賛成した一方、民主候補の一人と維新候補が反対した。自民候補は賛否を示さなかった。「原発ゼロを目指す」では、反対はなかったが、維新と自民候補のほとんどが「その他」を選択。両党とも原発継続を示すなか、あいまいな態度になっている。

アンケートを個人で見ると、共産・社民候補がそれぞれ19項目すべてに賛成した。その一方で、維新の2候補は反対が半分近くを占めるなど、協会要求と距離を置く形になった。民主・自民候補の多くが半分以上を「その他」で回答しており、賛否を明らかにできないあいまいな態度がうかがわれた。

「保険でよい」会 歯科政策で違い明らか 政党アンケートを実施

歯科医療関係者や患者らでつくる「保険でよい」会が、衆院選における各党の歯科医療政策を明らかにしようと、政党アンケートを実施した。11月25日まで民主・自民・生活・共産・社民・維新の6党から回答が寄せられた。

総選挙公約での歯科医療政策の有無については、「ある」と答えたのは、民主・共産・社民・生活・自民・公明・維新の7党。民主・共産・社民・生活・自民・公明・維新の7党は、「公平な社会の確立などバランスの上で実現されるべき」「生活」「経済的支援をおこなう」「(社民) などコメントした。

「窓口負担の大幅軽減」では、賛成が共産だけ、維新は反対した。ほかの政党は「その他」を選び、「慎重に検討」(民主)、「公平な社会の確立などバランスの上で実現されるべき」(生活)、「経済的支援をおこなう」(社民) などコメントした。

「反対」した。新は「更なる自由競争をはかる」とし、明確に「反対」した。

「混合診療拡大」については、民主・共産・社民が反対した。維新は賛成だった。民主は「現時点ではそのような方針はない」とコメント。生活は「その他」を選び、「無益な競争は避けるべき」とコメントした。

1・24大阪府と交渉 口腔保健の推進など求める



昨年大阪府交渉の様子

協会は、歯科医療改善を求めて、2013年1月24日に大阪府と交渉する。乳幼児医療費助成の拡充や国民健康保険の改善、審査・指導の民主化、歯科医療の提供体制の整備が重点課題。歯科医療現場の声を行政に届けようと、会員の参加を呼びかけている。

交渉では、全国最低水準になっている乳幼児医療費助成制度の早期改善を訴える。18歳未満のすべての子どもに国保証が届いていないことから、法律に基づいた運用を求めている。

指導では、医療機関に配慮した複数日開催や被指導者の求める帯同者を認めること、指導後に自主返還を求めないことなどを要請する。

また、全国で口腔保健条例の制定を議論している自治体が大阪府を含め4都府県にとどまっていることから、早期制定

歯科診療報酬の引き上げに対する考え方は、民主は「24年改正の実績を見て判断」、自民は「ご意見を十分に伺いながら検討」、生活は「適正な診療報酬の引き上げはあくまで意味のあること」、共産は「抜本的な増額・改革が必要」、社民は「国民生活を守る観点から引き上げます」とした。維新は「更なる自由競争をはかる」とし、明確に「反対」した。

「混合診療拡大」については、民主・共産・社民が反対した。維新は賛成だった。民主は「現時点ではそのような方針はない」とコメント。生活は「その他」を選び、「無益な競争は避けるべき」とコメントした。

3面に12・16衆院選「候補者アンケート」、4面に「年末調整のポイント」

来年1月から「敷地内禁煙」

協会・協同組合は、2013年1月から敷地内禁煙を実施します。保険医会館やM&Dホールにお越しの際はご協力をお願いします

平和な今の日本でもビジネス戦略は盛んだ。大損害を受けた在日の日本企業は懲りもせず中国進出を企画している。現代の日本人の精神構造は相当タフに見える。

中国や韓国も山中氏のノーベル賞受賞で、反日教育より科学教育が急務でなからうかとの世論が芽生えるかもしれない。

『公費請求の手引き』追加分を今号に同封

社保研究部は、『公費医療請求の手引き』の追加分を発行しました。学校保健安全法による医療費援助や生活保護、中国残留邦人等に対する医療支援給付、国保の短期証・資格証明書、日雇特例など全26分を追加。「公費請求ファイル」に新たに綴じてご活用ください。

歯界

師走は過去に思いを寄せるときだが、71年前の真珠湾攻撃が8日、281年前の赤穂浪士の吉良邸攻撃が14日、この238年の歳月で日本人の精神構造は別人種のように変わった。真珠湾では謀報素敵の甘さで敵空母を取り逃し、後の戦況の悪化要因となった。甘さの根元には非合理的な精神主義が見え隠れした。